

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公表番号】特表2005-531580(P2005-531580A)

【公表日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-041

【出願番号】特願2004-507449(P2004-507449)

【国際特許分類】

C 07 D 223/16	(2006.01)
A 61 K 31/55	(2006.01)
A 61 P 1/08	(2006.01)
A 61 P 3/04	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 25/14	(2006.01)
A 61 P 25/16	(2006.01)
A 61 P 25/20	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/30	(2006.01)

【F I】

C 07 D 223/16	C S P Z
A 61 K 31/55	
A 61 P 1/08	
A 61 P 3/04	
A 61 P 25/00	
A 61 P 25/14	
A 61 P 25/16	
A 61 P 25/20	
A 61 P 25/24	
A 61 P 25/28	
A 61 P 25/30	

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月24日(2006.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

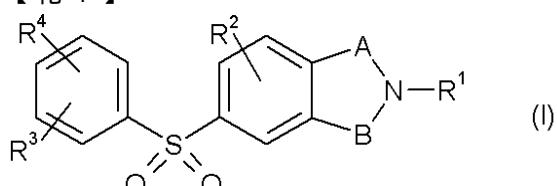
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



[式中、

A および B は、それぞれ、基 - (C H₂)_m - および - (C H₂)_n - を表し；

R¹は、水素またはC₁₋₆アルキルを表し；

R²は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシC₁₋₆アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、-(C H₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、-(C H₂)_pO C₃₋₆シクロアルキル、-C O C₁₋₆アルキル、-S O₂C₁₋₆アルキル、-S O C₁₋₆アルキル、-S-C₁₋₆アルキル、-C O₂C₁₋₆アルキル、-C O₂N R⁵R⁶、-S O₂N R⁵R⁶、-(C H₂)_pN R⁵R⁶、-(C H₂)_pN R⁵C O R⁶、置換されていてもよいアリール環、置換されていてもよいヘテロアリール環または置換されていてもよいヘテロサイクリル環を表し；

R³は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシC₁₋₆アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、-(C H₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、-(C H₂)_pO C₃₋₆シクロアルキル、-C O C₁₋₆アルキル、-S O₂C₁₋₆アルキル、-S O C₁₋₆アルキル、-S-C₁₋₆アルキル、-C O₂C₁₋₆アルキル、-C O₂N R⁷R⁸、-S O₂N R⁷R⁸、-(C H₂)_pN R⁷R⁸または-(C H₂)_pN R⁷C O R⁸を表し；

R⁴は、水素、ヒドロキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、ハロゲン、-O S O₂C F₃、-(C H₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、-(C H₂)_qO C₁₋₆アルキルまたは-(C H₂)_pO C₃₋₆シクロアルキルを表し；

R⁵およびR⁶は、各々独立して、水素、C₁₋₆アルキルを表すか、または、それらが結合している窒素または他の原子と一緒にになって、アザシクロアルキル環またはオキソ置換アザシクロアルキル環を形成し；

R⁷およびR⁸は、各々独立して、水素またはC₁₋₆アルキルを表し；

m および n は、独立して、1 および 2 から選択される整数を表し；

p は、独立して、0、1、2 および 3 から選択される整数を表し；

q は、独立して、1、2 および 3 から選択される整数を表す]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物（ただし、化合物 8 - ヒドロキシ - 3 - メチル - 7 - フェニルスルホニル - 2,3,4,5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピン、8 - ヒドロキシ - 7 - (4 - ヒドロキシフェニル)スルホニル - 2,3,4,5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピン、7 - フェニルスルホニル - 1,2,3,4 - テトラヒドロイソキノリンおよび7 - フェニルスルホニル - 1,2,3,4 - テトラヒドロイソキノリン・塩酸塩を除く）。

【請求項 2】

7 - (4 - n - プチルフェニルスルホニル) - 1,2,3,5 - テトラヒドロ - 3 - ベンゾアゼピン；または

7 - (4 - n - プチルフェニルスルホニル) - 3 - メチル - 1,2,3,5 - テトラヒドロ - 3 - ベンゾアゼピン

またはその医薬上許容される溶媒和物である、請求項 1 記載の式（I）で示される化合物。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の式（I）で示される化合物またはその医薬上許容される塩および医薬上許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 4】

治療において使用するための、請求項 1 または請求項 2 記載の式（I）で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 5】

ドーパミン受容体の調節を必要とする症状の治療において使用するための、請求項 1 または請求項 2 記載の式（I）で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 6】

精神病性障害、パーキンソン病、薬物乱用、ジスキネジア性障害、鬱病、双極性障害、不安および認知障害の治療において使用するための、請求項1または請求項2記載の式(I)で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物。

【請求項 7】

ドーパミン受容体の調節を必要とする症状の治療のための薬物の製造における請求項1または請求項2記載の式(I)で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物の使用。

【請求項 8】

精神病性障害、パーキンソン病、薬物乱用、ジスキネジア性障害、鬱病、双極性障害、不安および認知障害の治療のための薬物の製造における請求項1または請求項2記載の式(I)で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

EP285287には、胃腸運動障害の治療に使用するための3-ベンゾアゼピン化合物が記載されており、これらの化合物には、化合物8-ヒドロキシ-3-メチル-7-フェニルスルホニル-2,3,4,5-テトラヒドロ-1H-3-ベンゾアゼピンおよび8-ヒドロキシ-7-(4-ヒドロキシフェニル)スルホニル-2,3,4,5-テトラヒドロ-1H-3-ベンゾアゼピンが包含されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

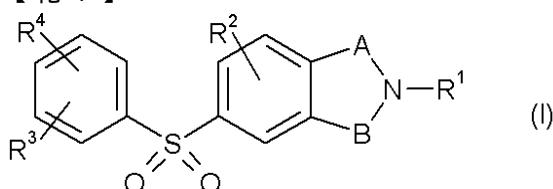
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によると、式(I)：

【化1】



[式中、

AおよびBは、それぞれ、基-(CH₂)_m-および-(CH₂)_n-を表し；

R¹は、水素またはC₁₋₆アルキルを表し；

R²は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシC₁₋₆アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、-(CH₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、-(CH₂)_pO C₃₋₆シクロアルキル、-CO C₁₋₆アルキル、-SO₂C₁₋₆アルキル、-SOC₁₋₆アルキル、-S-C₁₋₆アルキル、-CO₂C₁₋₆アルキル、-CO₂NR⁵R⁶、-SO₂NR⁵R⁶、-(CH₂)_pNR⁵R⁶、-(CH₂)_pNR⁵COR⁶、置換されていてもよいアリール環、置換されていてもよいヘテロアリール環または置換されていてもよいヘテロサイクリル環を表し；

R³は、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシC₁₋₆アルキル、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、-(CH₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、-(CH₂)_pO C₃₋₆シクロアルキル

、 - C O C₁₋₆アルキル、 - S O₂C₁₋₆アルキル、 - S O C₁₋₆アルキル、 - S - C₁₋₆アルキル、 - C O₂C₁₋₆アルキル、 - C O₂N R⁷R⁸、 - S O₂N R⁷R⁸、 - (C H₂)_pN R⁷R⁸または - (C H₂)_pN R⁷C O R⁸を表し；

R⁴は、水素、ヒドロキシ、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルコキシ、C₁₋₆フルオロアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、ハロゲン、- O S O₂C F₃、- (C H₂)_pC₃₋₆シクロアルキル、- (C H₂)_qO C₁₋₆アルキルまたは- (C H₂)_pO C₃₋₆シクロアルキルを表し；

R⁵およびR⁶は、各々独立して、水素、C₁₋₆アルキルを表すか、または、それらが結合している窒素または他の原子と一緒にになって、アザシクロアルキル環またはオキソ置換アザシクロアルキル環を形成し；

R⁷およびR⁸は、各々独立して、水素またはC₁₋₆アルキルを表し；

mおよびnは、独立して、1および2から選択される整数を表し；

pは、独立して、0、1、2および3から選択される整数を表し；

qは、独立して、1、2および3から選択される整数を表す】

で示される化合物またはその医薬上許容される塩もしくは溶媒和物（ただし、化合物8 - ヒドロキシ - 3 - メチル - 7 - フェニルスルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピン、8 - ヒドロキシ - 7 - (4 - ヒドロキシフェニル)スルホニル - 2, 3, 4, 5 - テトラヒドロ - 1H - 3 - ベンゾアゼピン、7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリンおよび7 - フェニルスルホニル - 1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリン・塩酸塩を除く）が提供される。_